



2013新春旗開き

日時 2013年1月27日(日)11:00

場所 岡山えきまえミヨシノ 5階
(086)231-3333

会費 男5000円 女3000円
出欠の連絡ハガキを15日までに投函してください。
連絡先党県連合 086-226-1234



選挙戦最終日、表町・奉還町で訴える福島代表・武本幹事長ら

いのちを大切にする政治を 護憲の社民党再生の年に

新年おめでとう ございます

改憲による戦争への道を許さない

党県連合代表
福島捷美



まず、昨年の衆院選に多くご支援をいただき、お礼申し上げます。
結果は、1強8弱に終わり、自主憲法制定をかける自民

多大なご支援に感謝し 党再生に新たな決意

党県連合は、選挙結果を受けて12月22日、第一回目の総括会議を行った。引き続き全党員・支援者の皆さんの声を集約し、党再生をしていくことが求められている。選挙戦前段の6月からは宣伝力一で県内8km以上

あいさつする福島捷美県連合代表
勝利に終わったことを厳しく受け止めねばなりません。また、新旧の右翼的政治家が多数当選したことは戦後67年の最大の失政を予告する事態となり、外交、貿易をはじめとして不安がつのります。党県連合は、春から「見える社民党」をモットーに、街宣、ポスター、新報号外配布を全力で取り組みましたが、結果は目標の50%に届かずその責任を感じています。安倍政権は、改憲し(96条)、自衛隊を軍隊に名称を変更して米軍の傘下のもとに出兵を目論んでいます。その意味でも、7月参議院選挙に必ず勝利しなければなりません。党員、支持者の皆さんのご支援をお願いします。

武本幹事長
を廻り、ポスター、号外7・6万枚を手配するなど、これまで以上の取り組みを行った。「脱原発、消費税増税など社民党は言い続けている。ガンバツテ」という県民の反応が電話で寄せられた。



7日岡山での第一声(金子比例区候補)

16歳以下党員・新報拡大

4日公示後、「脱原発・消費税増税廃止、TPP交渉参加反対」やオスプレイ配備訓練

の撤回、格差是正」などの訴えには、確かな手応えがあった。「見える社民党」として多くの党員、支持者の努力で新報号外配布は当初の予定以上を配布し、また推薦団体OBGの会の支援もあるなかで、党員、新報の拡大も勝ち得ている。

厳しい結果をどう活かすか

しかし、結果は結果、目標には遠く及ばず、極めて厳しい評価は深く受け止めなければならぬ。解散後の改憲論議、景気対策論議や12党の政党内乱などによって争点が見えにくくなり、党の主張を十分に浸透させることができなかったことは、力不足の反映で、非常に残念だった。反省点としては、何より日常活動の不足を言わざるを得ない。とりわけ、党員がオルガナイザー(組織者)にならないといけないのが現状で、これからの政治活動の課題は、党員の意識と思想性の強化であり、大衆政治学習会の継続・強化が求められる。

また、オスプレイの低空飛行訓練阻止に向けて住民との意見交換を深めていく必要がある。そして推薦団体と共闘しながら諸課題に継続的な運動を強めていくことが党の日常活動の拡がりにつながっていくことである。

7月参院選は社民党にとつての正念場、いまから学習活動を強めていこう。



年の気分どころか、憲法放棄、戦後レジームからの脱却、つまりは戦後民主主義の見直しを公然と標榜する安倍政権の年明けとなった。「自衛軍」「集団的自衛権の容認」など、戦争のできる普通の国に変えるのか、平和憲法を変えないのかの岐路となる▼ある教育委員会が「給食調理の人が残りを食べた」ことを問題にして処分をだすことが報じられた。異論反論があるなか、あるコメンテーターが「子どもが残り廃棄する姿を見て、どう感じるか」と発言、この一言に多くを学んだ記がした

▼私たちは、多くは自分の正当性を考えるが、どの場合でも相手があることを忘れてはならない。相手を思い浮かべないとき、異論を排除する行動につながりやすい▼さて、皆さんはどのような想いで新年を迎えられましたか(の)

新春旗開き

1月27日(日)11時

えきまえミヨシノ

15日までに返信投函ください
*詳細別途ご案内のとおり

「新報」読者会

1月9日(水)18時

弓之町「時事問題懇話会」

1月18日(金)18時

いずれも同じ場所

社民党県連合会議室